

2015

資格

要項

TAISHO  
University

〔履修要項別冊〕

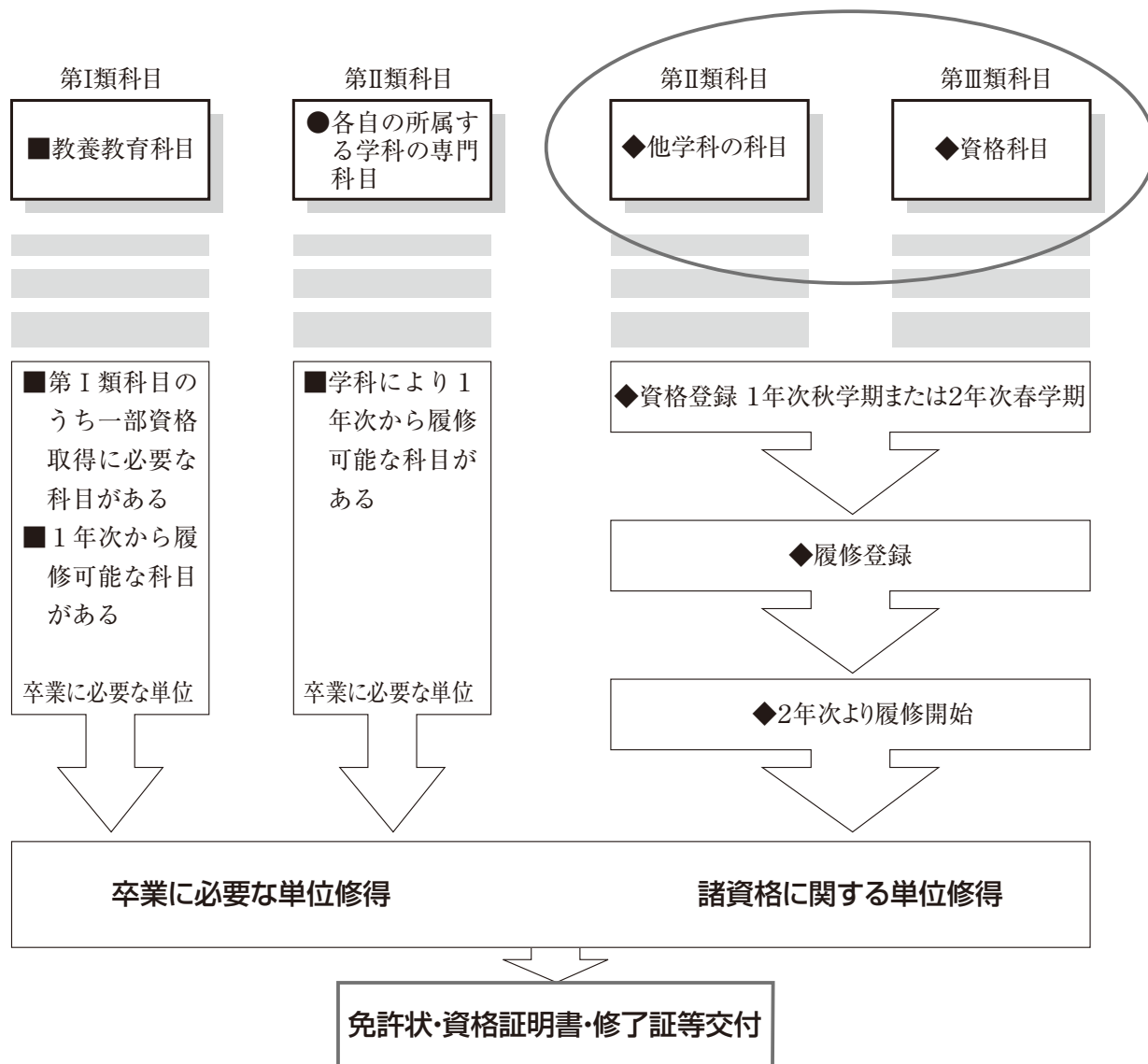
2012・2013・2014・2015年入学生

大正大学

# 資 格 要 項

2012・2013・2014・2015年度入学生

## \* 資格課程の科目構成 \*



### 注 意

資格課程は、3年間で必要単位が修得できるようカリキュラムが組まれています。早めに履修計画をたて、卒業までに必要な単位を修得してください。複数の資格登録をすることにより無理な履修計画をたてないように注意してください。

また、実習のある資格は、学生への連絡も多々あります。連絡事項については、すべてT-Poでお知らせするので必ず確認してください。また、ガイダンスには、必ず出席してください。

## 2 教職課程

## \* 教職課程 \*

教育職員免許状を取得しようとする学生のために開設し、学校教育と教職のあり方について深く考え、学び、教員としての専門知識の基礎を修得することを目的としています。ただ単に、免許状の取得のみを目標にしないようにしてください。

免許状を取得するためには、卒業に必要な単位の他に「教職に関する科目」「教科に関する科目」「教科又は教職に関する科目」「66条の6に定める科目」の単位を修得しなければなりません。

### 【教職課程の単位】

本学で教育職員免許状を取得するには、以下の単位を修得してください。また中学校の免許状を取得するには「介護等体験」を必修とします。(P42、P43を参照)

- 1 教職に関する科目 中学校31(社会のみ33)単位 高等学校27単位
- 2 教科に関する科目 中学校28(社会のみ26)単位 高等学校30単位
- 3 教科又は教職に関する科目 2単位(高等学校のみ)
- 4 66条の6に定める科目 8単位

### 【教育職員免許状の種類】

書道、宗教のみの免許状の取得を希望しても実習校がきわめて少ないので、複数の教科の履修を原則とします。

教育職員免許法に基づき、本学学則に定める科目の単位を修得することにより各学科・コースで取得できる免許状は以下のとおりです。ただし他学科聴講により免許状取得ができる場合があります。詳細は教職ガイダンスにてお知らせします。

### ＜2012年度入学生＞

学 科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
アーバン福祉学科			
人間環境学科			
臨床心理学科			公民
人間科学科	人間科学	社会	公民
教育人間学科	教育人間学	社会・宗教	地歴・公民・宗教
人文学科	日本語日本文学	国語	国語
	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	放送・映像表現		

### ＜2013年度入学生＞

学 科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
社会福祉学科			
人間環境学科			
臨床心理学科			公民
人間科学科		社会	公民
教育人間学科		社会・宗教	地歴・公民・宗教
人文学科	日本語日本文学	国語	国語
	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	放送・映像表現		
	エンターテインメントビジネス		

※コース名が空欄の学科は全コース対象です。

各学科・コースで取得できる免許状は以下のとおりです。ただし他学科聴講により免許状取得ができる場合があります。詳細は教職ガイダンスにてお知らせします。

### 〈2014年度入学生〉

学 科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
社会福祉学科			
人間環境学科			
臨床心理学科			公民
人間科学科		社会	公民
教育人間学科		社会・宗教	地歴・公民・宗教
人文学科	日本語日本文学	国語	国語
	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	出版・編集		
	放送・映像表現		
	エンターテインメントビジネス		

### 〈2015年度入学生〉

学 科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
社会福祉学科			
人間環境学科			
臨床心理学科			公民
人間科学科		社会	公民
教育人間学科		社会・宗教	地歴・公民・宗教
人文学科	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
日本文学科	日本文学	国語	国語
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	放送・映像表現		
	エンターテインメントビジネス		
	出版・編集		

### 他学科聴講について

他学科聴講とは、自学科で取得できる教科以外に、他学科で課程認定を受けている教科の免許状取得をすることです。この場合取得を希望するすべての免許状に係る「教科教育法」「教科に関する科目」の単位を修得することが必要です。

希望する人は、必ず教務課に相談してください。

### ■大学院教職課程

大学院（博士前期課程）では、各専攻ごとに専修免許状を取得することができます。

ただしその基礎となる一種免許状を取得するための要件を満たしていることが条件となります。専修免許状の取得については、大学院履修要項で確認してください。

### 〔専修免許状種類〕

種類	専攻	仏 教 学	社会福祉学	臨床心理学	人間科学	宗 教 学	史 学	国 文 学	比較文化
中学校専修	宗 教	社 会	—	社 会	宗 教	社 会	国 語	英 語	
高等学校専修	宗 教	公 民	公 民	公 民	宗 教	地理歴史	国 語	英 語	

# \* 教育職員免許状取得までのながれ \*

教職課程

取得までのながれ

学年	教育実習・免許申請			介護等体験	
1年	9月	・教職課程ガイダンス ・資格登録			
	3月末	・教職課程ガイダンス			
2年	4月	・資格登録 (1年次に未登録の学生対象)	「66条の6に定める科目」 「教職に関する科目」 「教科又は教職に関する科目」	「	
				教	10月 介護等体験スタートガイダンス ・介護等体験申込 ・レポート課題提示
				科	12月 介護等体験事前指導 ・前年度体験者報告会出席 ・レポート提出
	3月中旬	・教職課程面談予約		に	1月 T-P oにてレポートの合否発表
	3月末	・教職課程面談 ・教職課程ガイダンス			3月末 介護等体験ガイダンス
3年	4月	・実習校への内諾依頼	「	関	5月 介護等体験事前講義
	5月	・教育実習調査書提出		す	6月 介護等体験事前講義
	6月～9月	・内諾回答文が実習校から 戻り次第配付		る	6月 介護等体験直前ガイダンス
	8月	・教育実習希望者事前面談予約		科	
	9月	・教育実習希望者事前面談 ・教育実習Ⅰ履修登録 ・教育実習Ⅰ授業受講		目	6月～12月 介護等体験参加
	12月	・教育実習報告会（4年生と 合同）			
	3月末	・教職課程ガイダンス		「	12月 介護等体験事後指導 (介護等体験報告会出席)
4年	4月	・教育実習直前ガイダンス	「	教	
	7月	・教育職員免許状一括申請 ガイダンス 1回目（申込、戸籍抄本提出）		育	
	11月	・教育職員免許状一括申請 ガイダンス 2回目（宣誓書の署名・捺印）		実	
	12月	・教育実習報告会 （3年生と合同）		習	
	3月	・学位授与式（免許状授与）		」	

## \* 教職課程に関する科目 \*

### □ 教職に関する科目

3年次終了までにすべて履修し、下表のとおり単位を修得してください（但し、教育実習・教職実践演習を除きます）。

法 定 科 目	本 学 開 講 科 目	単位数	備 考
教職の意義等に関する科目	現 代 教 職 論	2	2～3年次必修
教育の基礎理論に関する科目	教 育 基 礎 論	2	2～3年次必修
	学 習 ・ 発 達 論	2	2～3年次必修
	教 育 制 度 論	2	2～3年次必修
	教 育 課 程 論	2	2～3年次必修
教育課程及び指導法に関する科目	国 語 科 教 育 法 I	2	2～3年次必修 (P10 参照) ・ I → II 先修制：I の単位修得 後 II を履修すること。
	国 語 科 教 育 法 II	2	
	国 語 科 教 育 法 III	2	
	国 語 科 教 育 法 IV	2	
	英 語 科 教 育 法 I	2	
	英 語 科 教 育 法 II	2	
	英 語 科 教 育 法 III	2	
	英 語 科 教 育 法 IV	2	
	宗 教 科 教 育 法 I	2	
	宗 教 科 教 育 法 II	2	
	宗 教 科 教 育 法 III	2	
	宗 教 科 教 育 法 IV	2	
	書 道 科 教 育 法 I	2	
	書 道 科 教 育 法 II	2	
	社 会 科 教 育 法 I	2	
	社 会 科 教 育 法 II	2	
	社 会 ・ 地 歴 科 教 育 法 I	2	
	社 会 ・ 地 歴 科 教 育 法 II	2	
	社 会 ・ 公 民 科 教 育 法 I	2	
	社 会 ・ 公 民 科 教 育 法 II	2	
道徳教育研究	道 徳 教 育 研 究	2	2～3年次必修
	道 徳 教 育 の 指 導 法	2	2単位選択必修
	特 別 活 動 研 究	2	2～3年次必修
	特 別 活 動 の 指 導 法	2	2単位選択必修
	教 育 方 法 論	2	2～3年次必修
	教 育 方 法 論	2	2～3年次必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生 徒 ・ 進 路 指 導 論	2	2～3年次必修
	教 育 相 談	2	
教育実習（P13～P15参照）	教 育 実 習 A	3※	※高等学校のみ 3年次秋学期より履修
	教 育 実 習 B	5	
教職実践演習	教 職 実 践 演 習	2	4年次秋学期履修

2015年度未開講

## ■ 教科教育法の履修方法について

4年次に教育実習を行う教科の教科教育法は3年次終了までに単位を修得すること。また、教育実習を行う教科以外で免許状を取得希望する教科の教科教育法は4年次終了までに単位を修得すること。

## ■ 社会・地理歴史・公民の教科教育法の履修方法について

以下のとおりに履修してください。

### ● 中学社会科

- ①社会科教育法Ⅰ
  - ②社会科教育法Ⅱ
  - ③社会・地理歴史科教育法Ⅰ
  - ④社会・公民科教育法Ⅰ
- 1科目選択必修      計6単位

### ● 中学社会科と高校地理歴史科

- ①社会科教育法Ⅰ
  - ②社会科教育法Ⅱ
  - ③社会・地理歴史科教育法Ⅰ
  - ③社会・地理歴史科教育法Ⅱ
- 計8単位

### ● 中学社会科と高校公民科

- ①社会科教育法Ⅰ
  - ②社会科教育法Ⅱ
  - ③社会・公民科教育法Ⅰ
  - ③社会・公民科教育法Ⅱ
- 計8単位

## □ 教科又は教職に関する科目

教員としての個性や得意分野を作ってもらうための科目です。本学では法令で定められている教科に関する科目の単位数を上回る科目を履修してもらいます。（高等学校の免許状取得にあたっては道德教育研究も含まれます。）

## \* 教職課程に関する科目 \*

### □ 66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則66条の6に定められた科目で、免許状の種類にかかわらず必修です。

3年次終了までにすべて履修し、下表の単位を修得してください。

本学開講科目	本学開講科目	単位数	本学開講科目
日 本 国 憲 法	日本国憲法	2	2～3年次必修
体 育	現代スポーツ論	2	2～3年次必修 2単位選択必修
	自然の探究 C	2	
	体 育	2	
外国語コミュニケーション	英 語 I	1	1～3年次同一言語で 2単位選択必修  ※英語以外は抽選科目
	英 語 II	1	
	英 語 III	1	
	英 語 IV	1	
	英 語 1	1	
	英 語 2	1	
	英 語 3	1	
	英 語 4	1	
	英 語 I (総合)	1	
	英 語 II (総合)	1	
	英 語 III (総合)	1	
	英 語 IV (総合)	1	
	英 語 V (TOEIC)	1	
	英 語 VI (TOEIC)	1	
	ド イ ツ 語 I (総合)	1	
	ド イ ツ 語 I (読解)	1	
	ド イ ツ 語 I (会話)	1	
	ド イ ツ 語 II (総合)	1	
	ド イ ツ 語 II (読解)	1	
	ド イ ツ 語 II (会話)	1	
	ド イ ツ 語 III (総合)	1	
	ド イ ツ 語 III (読解)	1	
	ド イ ツ 語 III (会話)	1	
	ド イ ツ 語 IV (総合)	1	
	ド イ ツ 語 IV (読解)	1	
	ド イ ツ 語 IV (会話)	1	
	世界の言語 (ドイツ語) 1	1	
	世界の言語 (ドイツ語) 2	1	
	世界の言語 (ドイツ語) 3	1	
	世界の言語 (ドイツ語) 4	1	
	フランス語 I (総合)	1	
	フランス語 I (読解)	1	
	フランス語 I (会話)	1	
	フランス語 II (総合)	1	
	フランス語 II (読解)	1	
	フランス語 II (会話)	1	
	フランス語 III (総合)	1	
	フランス語 III (読解)	1	
	フランス語 III (会話)	1	
	フランス語 IV (総合)	1	
	フランス語 IV (読解)	1	

法 定 科 目	本学開講科目	単位数	備 考
外国語コミュニケーション	フランス語Ⅳ（会話）	1	1～3年次同一言語で 2単位選択必修  ※英語以外は抽選科目
	世界の言語（フランス語）1	1	
	世界の言語（フランス語）2	1	
	世界の言語（フランス語）3	1	
	世界の言語（フランス語）4	1	
	中国語Ⅰ	1	
	中国語Ⅱ	1	
	中国語Ⅲ	1	
	中国語Ⅳ	1	
	世界の言語（中国語）1	1	
	世界の言語（中国語）2	1	
	世界の言語（中国語）3	1	
	世界の言語（中国語）4	1	
	中国語Ⅰ（総合）	1	
	中国語Ⅱ（総合）	1	
	中国語Ⅲ（総合）	1	
	中国語Ⅲ（会話）	1	
	中国語Ⅲ（読解）	1	
	中国語Ⅳ（総合）	1	
	中国語Ⅳ（会話）	1	
	中国語Ⅳ（読解）	1	
	中国語Ⅴ（会話）	1	
	中国語Ⅴ（読解）	1	
	中国語Ⅴ（キャリア）	1	
	中国語Ⅴ（中国語検定）	1	
	中国語Ⅵ（会話）	1	
	中国語Ⅵ（読解）	1	
	中国語Ⅵ（キャリア）	1	
	中国語Ⅵ（中国語検定）	1	
情報機器の操作	情報基礎（基本PC技法）	2	1～3年次2単位必修 ※抽選科目
	基礎技法C	2	

## \* 教育実習 \*

### ■ 教育実習までのながれ

#### 3年次

3月26日（木）	3年生教職ガイダンス
4月～5月下旬	内諾依頼
5月29日（金）	教育実習調査書提出
秋学期履修登録期間	教育実習Ⅰ履修登録
9月～	教育実習Ⅰ授業開始（4年生秋学期まで続きます）
9月	教育実習希望者事前面談
1月	教育実習Ⅰ試験

#### 4年次

3月26日（木）	4年生教職ガイダンス
4月18日（土）4限	教育実習直前ガイダンス
5月下旬～10月	教育実習
12月19日（土）4限・5限	教育実習報告会（3年生と合同授業です。教育実習Ⅰが終了になります）

※ガイダンス日程については予定です。変更する可能性もありますので、T-Poで必ず確認をしてください。

※実習期間中の授業の欠席について

教務課窓口で「欠席事由証明書」を発行します。欠席する授業の担当教員へ**事前**に提出してください。

但し、出欠の判断は担当教員により異なります。詳細については、教育実習直前ガイダンスで説明します。

### ■ 教育実習Ⅰ、Ⅱ（教育実習事前事後指導）の履修登録について

教育実習Ⅰは、3年生秋学期に各自で履修登録してください。教育実習Ⅱは、4年生教職ガイダンスで履修を受け付け、教務課が登録を行います。各自で登録する必要はありません。

#### 〈教育実習の単位数と実習期間について〉

取得免許状種類	単位数	実習期間
高校一種のみ	3単位	2週間
中学一種のみ	5単位	3～4週間
中学一種・高校一種		

※時期・期間については実習校の指示に従ってください。

#### 〈教育実習の単位認定について〉

平常点及び学期末試験の合格を前提に、4年次の事前事後指導における平常点、教育実習での実習校からの評価、実習日誌に加え、一社会人としての態度・言動ができているか（ガイダンス等への出席状況、提出物等）も含め、4年次終了時に「教育実習」として教育実習Ⅰ、Ⅱの単位認定をします。

#### 〈実習参加資格〉

- 以下の科目の単位を3年次終了までに修得した学生
  - ① 教職に関する科目（P9参照）
  - ② 教科又は教職に関する科目（P10参照）
  - ③ 66条の6に定める科目（P11、P12参照）
- 教育実習Ⅰ（3年次秋学期）の平常点、学期末試験に合格し、4年次春学期のガイダンスに出席した学生
- 教員として就職することを強く志望している学生
- 実習校から大学をとおして内諾を得ている学生

- 教職課程・教育実習事前面談（2年次・3年次）に合格している学生

#### ※科目等履修生について

「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」「66条の6に定める科目」の単位を修得済みで、「教育実習」履修年次に「教科に関する科目」の単位をすべて修得できる見込みの学生

### ■ 実習について

- 中学校の免許状を取得する場合、原則として中学校で教育実習を行ってください。ただし高校でしか内諾をもらえなかった場合は、実習期間に十分注意してください（3週間以上の実習が必要）。
- 高校のみの免許状を取得しようとする学生が高校で内諾を得られなかった場合は、実習に行くことができません。中高合わせて免許状を取得するようにしてください。

年次	実習校種別	手続き等	
3 年 次	出身校 (都公立・ 特別依頼校 除く)	内諾依頼	新年度のガイダンス（3月末）終了後、各自で出身校を訪問し、教育実習の内々諾を得てください。内々諾を得たら大学で配布する「教育実習調査書」を記入し、期限までに教務課窓口へ提出してください。「教育実習調査書」に基づき、大学から正式に実習校へ内諾依頼をします。
		実習までの 確認・手続き	教務課窓口で「回答書」を事前に受け取り確認してください。
	都公立中学・ 高校	内諾依頼	東京都教育委員会を取りまとめるため、別途申請が必要です。必ず「教育実習調査書」は提出してください。 申請方法は新年度のガイダンス時（3月末）に説明します。
		実習までの 確認・手続き	実習校が決定後、大学から本人に通知します。その後の提出書類等については教務課から指示します。
	特別依頼校	内諾依頼	特別依頼校での実習を希望する場合は、指定の期日までに教務課へ申し出てください。特別依頼校への個人的な交渉は認められません。必ず「教育実習調査書」は提出してください。 10月に希望者面接をし、実習参加の可否ならびに実習校を決定します。ただし、実習校の指定や実習教科の指定はできません。 〈特別依頼校での実習申込資格〉 ①中学校・高校両方の免許を取得希望であること。 ②3年次春学期までのGPAが3.0以上であること。
		実習までの 確認・手続き	教務課窓口で「回答書」を事前に受け取り確認してください。
4 年 次	共 通	実習費納入	実習費が必要な学生は、証明書発行機で指定期間内に納入してください。詳細は、教育実習直前ガイダンスにてお知らせします。 ※ その他、教育実習にかかる費用は、実習校の指示に従ってください。
		実習の準備	実習開始前に各自が実習校と連絡を取り、実習校での事前オリエンテーションの日程等を確認し実習の準備をしてください。 実習校ではそれぞれの実状に即して、教育実習の指導計画が編成されています。使用する教科書や配属学年・クラス・担当分野等を実習校での事前オリエンテーションでよく確認してください。

### ■ 教育実習日誌の提出について

教育実習終了後、指定期日までに「教育実習日誌」を教務課窓口へ提出してください。  
実習校の事情により、期日までに提出できない場合は、必ず教務課へ連絡してください。

### ■ 教育実習の成績について

3年次の教育実習Ⅰにおける平常点と学期末試験、4年次の事前事後指導における平常点、実習校からの評価、実習日誌に加え、一社会人としての態度・言動ができているか、も含めて総合的に評価する。

### ■ 教育実習の辞退について

教育実習の辞退は一切認めません（病気等やむを得ない場合を除く）。

実習校決定後に実習を辞退することは、実習校ならびに教育委員会に多大な迷惑をかけることになります。

また、今後後輩の実習受け入れに支障をきたすことになるので注意してください。ただし、「実習参加資格」に該当しない学生（P13参照）は3年次終了の時点で辞退となります。

## \* 教科に関する科目 \*

法令上は「各区分ごとにそれぞれ1単位以上修得し、かつ合計20単位以上を修得すること」となっていますが、総修得単位（59単位）のうち、「教職に関する科目」の単位数が取得する免許・教科によって異なるため、本学では各自所属学部・学科・コースで定める科目表にしたがって履修してください。

### ■仏教学科

#### ●中学校社会科

◎修得単位数の合計が26単位以上になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
社 会	日 本 史 及 び 外 国 史	日本史概説A	2	○	1科目選択必修
		日本史概説B	2	○	
		西洋史概説	4	●	必修
		東洋史概説	4	●	
		天台教団史研究A	2		
		天台教団史研究B	2		
		真言豊山教団史研究A	2		
		真言豊山教団史研究B	2		
		真言智山教団史研究A	2		
		真言智山教団史研究B	2		
		浄土教団史研究A	2		
		浄土教団史研究B	2		
		時宗教団史研究	4		
	地 理 学 ( 地 誌 を 含 む。)	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
		地誌学	2	●	必修
	「法 律 学、政 治 学」	法律学概論(国際法を含む。)	2	○	1科目選択必修
		政治学概論(国際政治を含む。)	2	○	
		宗教法人法	2		
	「社 会 学、経 済 学」	社会学入門	4	○	1科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
		社会教化総論	2		
		現代社会と仏教	2		【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		
		仏教社会福祉論	2		
	「哲 学、倫 理 学、宗 教 学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		基礎仏教学 I	4		

2015年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備	考
社会	「哲学、倫理学、宗教学」	基礎仏教学Ⅰ（初期仏教）	4			
		基礎仏教学Ⅱ	4			
		基礎仏教学Ⅱ（大乘仏教）	4			
		基礎仏教学Ⅲ	4			
		基礎仏教学Ⅲ（アジア仏教）	4			
		基礎仏教学Ⅳ	4			
		基礎仏教学Ⅳ（日本仏教）	4			
		インド思想史概論	2			
		初期仏教思想研究	2			
		初期仏教研究	2			
		大乘仏教思想研究A	2			
		大乘仏教研究	2			
		大乘仏教思想研究B	2			
		大乘經典研究	2			
		中国仏教思想研究	2			
		中国仏教研究	2			
		日本仏教思想研究	2			
		日本仏教研究	2			
		近代思想と仏教	2			
		現代思想と仏教	2			
		教育と宗教	2			
		仏教美術史研究A	2			
		仏教美術史研究B	2			
		仏教文化研究A	2			
		仏教文化研究B	2			
		仏教文化研究C	2			
		仏教文化研究D	2			
		仏教文化研究E	2			
		密教と文化	2			
		仏教表現研究A	2			
		仏教表現研究 B	2			
		天台仏教と文化	2			
		仏教表現研究 C	2			
		仏教表現研究 D	2			
		浄土教と文化	2			
		仏教表現研究 E	2			
		天台学教理体系A	2			
		天台学教理体系B	2			
		天台学宗典概説A	2			
		天台学宗典概説B	2			
		真言豊山学教理体系A	2			
		真言豊山学教理体系B	2			
		真言豊山学宗典概説A	2			
		真言豊山学宗典概説B	2			
		真言智山学教理体系A	2			
		真言智山学教理体系B	2			
真言智山学宗典概説A	2					
真言智山学宗典概説B	2					
浄土学教理体系A	2					
浄土学教理体系 B	2					
浄土学宗典概説 A	2					
浄土学宗典概説 B	2					
		時宗教理体系	4			

# ■仏教学科

## ●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること（○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
公 民	「法 律 学(国際法を含む。)、 政治学 (国際政治を含む。)」	法律学概論(国際法を含む。)	2	○	1 科目選択必修
		政治学概論(国際政治を含む。)	2	○	
		宗教法人法	2		
	「社 会 学、経 済 学 ( 国 際 経 済 を 含 む。)」	社会学入門	4	○	1 科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
		社会教化総論	2		
		現代社会と仏教	2		【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		
		仏教社会福祉論	2		
	「哲 学、倫 理 学、 宗 教 学、心 理 学」	哲学入門	2	○	1 科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学の基礎 A	2	○	2015年度未開講
		基礎仏教学Ⅰ	4		
		基礎仏教学Ⅰ（初期仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅱ	4		
		基礎仏教学Ⅱ（大乘仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅲ	4		
		基礎仏教学Ⅲ（アジア仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅳ	4		
		基礎仏教学Ⅳ（日本仏教）	4		
		インド思想史概論	2		
		初期仏教思想研究	2		
		初期仏教研究	2		
		大乘仏教思想研究A	2		
		大乘仏教研究	2		

2015年度未開講

2015年度未開講

## ■仏教学科

### ●中学校・高等学校宗教科

◎修得単位数の合計が中学校は28単位以上、高校は30単位以上になるように以下の科目を履修すること  
(●は必修、○は選択必修)。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
宗教	宗 教 学	宗教学入門	2	●	必修
		基礎仏教学Ⅰ	4		
		基礎仏教学Ⅰ（初期仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅱ	4		
		基礎仏教学Ⅱ（大乘仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅲ	4		
		基礎仏教学Ⅲ（アジア仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅳ	4		
		基礎仏教学Ⅳ（日本仏教）	4		
		インド思想史概論	2		
		初期仏教思想研究	2		
		初期仏教研究	2		
		大乘仏教思想研究A	2		
		大乘仏教研究	2		
		大乘仏教思想研究B	2		
		大乘経典研究	2		
		中国仏教思想研究	2		
		中国仏教研究	2		
		日本仏教思想研究	2		
		日本仏教研究	2		
		近代思想と仏教	2		
		現代思想と仏教	2		
		インド仏典研究	2		
		教育と宗教	2		
		仏教美術史研究A	2		
		仏教美術史研究B	2		
		仏教文化研究A	2		
		仏教文化研究B	2		
		仏教文化研究C	2		
		仏教文化研究D	2		
		仏教文化研究E	2		
		密教と文化	2		
		仏教表現研究A	2		
		仏教表現研究B	2		
		天台仏教と文化	2		
		仏教表現研究C	2		
		仏教表現研究D	2		
		浄土教と文化	2		
		仏教表現研究E	2		

2015年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
宗 教 史		宗教史Ⅰ	2	●	
		宗教史Ⅱ	2	●	
		天台教団史研究 A	2		
		天台教団史研究 B	2		
		真言豊山教団史研究 A	2		
		真言豊山教団史研究 B	2		
		真言智山教団史研究 A	2		
		真言智山教団史研究 B	2		
		浄土教団史研究 A	2		
		浄土教団史研究 B	2		
		時宗教団史研究	4		
宗 教	「教 理 学、 哲 学」	哲学入門	2	●	必修
		天台学教理研究 A	2		
		天台学教理研究 B	2		
		天台学教理研究 C	2		
		天台学教理研究 D	2		
		真言豊山学教理研究 A	2		
		真言豊山学教理研究 B	2		
		真言豊山学教理研究 C	2		
		真言豊山学教理研究 D	2		
		真言智山学教理研究 A	2		
		真言智山学教理研究 B	2		
		真言智山学教理研究 C	2		
		真言智山学教理研究 D	2		
		浄土学教理研究 A	2		
		浄土学教理研究 B	2		
		浄土学教理研究 C	2		
		浄土学教理研究 D	2		
		日蓮教学概論 A	2		
		日蓮教学概論 B	2		
		禅学概論 A	2		
		禅学概論 B	2		

2015年度未開講

# ■臨床心理学科

## ●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること（○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
公民	「法 律 学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論(国際政治を含む。)	2	○	
		関係法規	2		
	「社 会 学、経 済 学 ( 国 際 経 済 を 含 む。)」	社会学入門	4	○	1科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
		産業臨床心理学	2		
		コミュニティ心理学	2		
		臨床調査研究法	2		
	「哲 学、倫 理 学、 宗 教 学、心 理 学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学	2	○	
		臨床心理学概論	2		
		心理学研究法	2		
		心理査定法	2		
		対人社会心理学	2		
		パーソナリティ心理学	2		
		認知心理学	2		
		発達心理学	2		
		発達臨床心理学	4		
		深層心理学	4		
		人間性心理学	4		
		家族臨床心理学	2		
		教育臨床心理学	2		
		非行犯罪臨床心理学	2		
		病院臨床心理学	2		
		臨床神経心理学	2		
		臨床心理学実務特講	2		
		臨床心理学技法特講	2		
		臨床心理学理論特講	2		
		心理療法論	4		
		心理援助論	2		
		発達援助論	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅠ	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅡ	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅢ	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅣ	2		
		臨床心理学技法演習	4		
		臨床心理学演習(インターン)	4		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールA	2		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールB	2		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールC	2		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールD	2		
		原書講読A	1		
		原書講読B	1		
		原書講読C	1		
		原書講読D	1		

2015年度未開講

## ●中学校社会科

教職課程  
人間科学  
中学社会

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
社 会	日 本 史 及 び 外 国 史	日本史概説A	2	○	} 1科目選択必修
		日本史概説B	2	○	
		東洋史概説	4	●	必修
		西洋史概説	4	●	必修
	地 理 学（地誌を含む。）	人文地理学A	2	○	} 1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	} 1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
		地誌学	2	●	必修
	「法 律 学、政 治 学」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	} 1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		生活問題論	2		
		社会と法	2		
	「社 会 学、経 済 学」	社会学の基礎	4	○	} 1科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
		人間科学研究法の基礎	2		
		社会調査法B	2		
		ジェンダー論	2		
		家族研究入門	2		
		家族の社会学	2		
		ライフコース論	2		
		現代社会論	2		
		現代社会とライフコース	2		
		学びと人生	2		
		都市と地域の社会学	2		
		家族変動論	2		
		教育と社会	2		
		青年文化論	2		
		青年期とアイデンティティ	2		
		職場の社会学	2		
		仕事の社会学	2		
		犯罪・非行と社会	2		
		社会問題論	2		
犯罪学研究		2			
文化の社会学		2			
生活環境の社会学		2			
人口と社会		2			
人間科学研究法 A		2			
社会調査法A		2			
人間科学研究法 C		2			
社会調査法C		2			
人間科学研究法 D	2				
社会統計学 I	2				
人間科学研究法 E	2				

– 23 –

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
社 会	「 社 会 学、 経 済 学 」	社会統計学Ⅱ	2		【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象
		社会学の理論と方法	2		
		生涯学習概論	4		
		比較生涯学習概論A	2		
		比較生涯学習概論B	2		
		社会教育計画論	4		
		子育て支援学習	2		
		青少年と学習	2		
		成人と学習	2		
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
	ネクストコミュニティマネジメント論A	2			
	ネクストコミュニティマネジメント論B	2			
	ネクストコミュニティマネジメント論C	2			
	「 哲 学、 倫 理 学、 宗 教 学 」	哲学入門	2	○	1 科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
宗教学入門		2	○		

2015年度未開講

## ●高等学校公民科

教職課程  
人間科学  
高校公民

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
公   					

– 25 –

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
公	「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	ネクストコミュニティ基礎論A	2		【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		
民	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学の基礎	4	○	
		社会心理学	2		
		脳と心	2		
		心の認知科学	2		
		認知社会心理学	2		
		生涯発達心理学	2		
		親と子の発達心理学	2		
		コミュニケーションの心理学	2		
		健康心理学	2		
		心理学研究法A	2		
		人間科学研究法B	2		
		心理学研究法B	2		

2015年度未開講

# ■教育人間学科

## ●中学校社会科

◎修得単位数の合計が26単位以上になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
社会	日本史及び外国史	日本史概説A	2	○	1科目選択必修 必修 必修
		日本史概説B	2	○	
		東洋史概説	4	●	
		西洋史概説	4	●	
		文化からみる日本史	2		
		文化からみる世界史	2		
		科学とオカルトの歴史	2		
		東と西の思想史	2		
		美学の歴史	2		
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学A	2	○	1科目選択必修 1科目選択必修 必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	
		自然地理学B	2	○	
		地誌学	2	●	
		環境への責任を考える	2		
		国際理解教育論	2		
	「法学、政治学」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		グローバル化に向き合う教育	2		
	「社会学、経済学」	社会学の基礎	4	○	1科目選択必修 【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象
		経済学概論（国際経済を含む。）	2	○	
		現代の人間関係を考える	2		
		教育と社会	2		
		生涯学習概論	4		
		比較生涯学習概論A	2		
		比較生涯学習概論B	2		
		社会教育計画論	4		
		子育て支援学習	2		
		青少年と学習	2		
		成人と学習	2		
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		

2015年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学の基礎	2	○	1科目選択必修
		現代社会の倫理を考える	2	○	
		宗教学の基礎	2	○	
		教育者のための哲学	2		
		教育者のための倫理学	2		
		人と文化をつくる宗教	2		
		生活のなかの宗教	2		
		こころの教育を考える	2		
		いのちの教育を考える	2		
		いのちの倫理	2		
		伝統民俗を活かす教育	2		
		アジアの思想と教育	2		
		宗教と教育の関係	2		

2015年度未開講

## ●高等学校公民科

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考	
公 民	「法 律 学(国際法を含む。)、 政治学(国際政治を含む。)」	法学概論（国際法を含む。）	2	○	1 科目選択必修	
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○		
		グローバル化に向き合う教育	2			
	「社 会 学、経 済 学 （ 国 際 経 済 を 含 む。）」	社会学の基礎	4	○	1 科目選択必修	
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○		
		現代の人間関係を考える	2			
		教育と社会	2			
		生涯学習概論	4			
		比較生涯学習概論A	2			
		比較生涯学習概論B	2			
		社会教育計画論	4			
		子育て支援学習	2			
		青少年と学習	2			
		成人と学習	2			
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象	
		ネクストコミュニティ基礎論B	2			
		ネクストコミュニティ基礎論C	2			
		ネクストコミュニティ共生論A	2			
		ネクストコミュニティ共生論B	2			
		ネクストコミュニティ共生論C	2			
		ネクストコミュニティ創造論A	2			
		ネクストコミュニティ創造論B	2			
		ネクストコミュニティ創造論C	2			
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2			
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2			
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2			
		「 哲 学、倫 理 学、 宗 教 学、心 理 学 」	哲学の基礎	2	○	1 科目選択必修
			現代社会の倫理を考える	2	○	
	宗教学の基礎		2	○		
	心理学の基礎		4	○		
	教育心理学の基礎		2			
	社会心理学の基礎		2			
	教育者のための哲学		2			
教育者のための倫理学	2					
こころの哲学	2					
人と文化をつくる宗教	2					
生活のなかの宗教	2					
こころの教育を考える	2					
いのちの教育を考える	2					
いのちの倫理	2					
伝統民俗を活かす教育	2					
アジアの思想と教育	2					
対立と対話	2					
宗教と教育の関係	2					
パーソナリティの心理学	2					
臨床発達心理学	2					
個人差の心理学	2					

教職課程

教育人間  
高校公民

## ■教育人間学科

### ●高等学校地理歴史科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
地 理 歴 史	日 本 史	日本史概説 A	2	○	1 科目選択必修
		日本史概説 B	2	○	
		文化からみる日本史	2		
	外 国 史	西洋史概説	4	●	必修 必修
		東洋史概説	4	●	
		文化からみる世界史	2		
		科学とオカルトの歴史	2		
		東と西の思想史	2		
		美学の歴史	2		
	人文地理学及び自然地理学	人文地理学 A	2	○	1 科目選択必修
		人文地理学 B	2	○	
		自然地理学 A	2	○	1 科目選択必修
		自然地理学 B	2	○	
		環境への責任を考える	2		
		国際理解教育論	2		
	地 誌	地誌学	2	●	必修

2015年度未開講

### ●中学校・高等学校宗教科

◎修得単位数の合計が中学校は28単位以上、高校は30単位以上になるように以下の科目を履修すること（●は必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
宗 教	宗 教 学	宗教学の基礎	2	●	必修
		生活のなかの宗教	2		
		伝統民俗を活かす教育	2		
		アジアの思想と教育	2		
		現代宗教論	2		
		宗教と教育の関係	2		
	宗 教 史	人と文化をつくる宗教	2	●	必修
		科学とオカルトの歴史	2		
		宗教史Ⅰ	2		
		宗教史Ⅱ	2		
	「教 理 学、 哲 学」	哲学の基礎	2	●	必修
		教育者のための哲学	2		
		教育者のための倫理学	2		
		こころの哲学	2		
		いのちの倫理	2		
		こころの教育を考える	2		
		いのちの教育を考える	2		
		現代社会の倫理を考える	2		
		対立と対話	2		

2015年度未開講

# ■人文学科〈日本語・日本文学コース〉（2014年度以前入学生）

## ●中学校国語科

◎修得単位数の合計が28単位以上になるように以下の科目を履修すること。（●は必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
国語学	国語学 （音声言語および文章表現に関するものを含む。）	日本語基礎論	2		必修 必修
		基礎日本語Ⅰ	2	●	
		基礎日本語Ⅱ	2	●	
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		必修
		日本語学研究Ⅰ	2	●	
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		必修 必修 必修 必修
		音声学研究Ⅰ	2	●	
		音声学研究Ⅱ	2	●	
		言語学研究Ⅰ	2	●	
		言語学研究Ⅱ	2	●	※ 他学科聴講生 履修不可
		日本語学課題研究Ⅰ	2		
		日本語学課題研究Ⅱ	2		
		日本語学課題研究Ⅲ	2		
		日本語学課題研究Ⅳ	2		
	国文学 （国文学史を含む。）	日本文学基礎論	2		必修 必修
		基礎日本文学Ⅰ	2	●	
		基礎日本文学Ⅱ	2	●	
		基礎日本文学Ⅲ	2		※ 他学科聴講生 履修不可
		基礎日本文学Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		
		仏教文学Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅰ	2		
		日本文学課題研究Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅲ	2		
		日本文学課題研究Ⅳ	2		
	漢文学	日本漢文学	2	●	必修
	書道 （書写を中心とする。）	書写技術研究 A	2	●	必修
		書写技術研究 B	2	●	必修

2015年度未開講

# ■人文学科〈日本語・日本文学コース〉（2014年度以前入学生）

## ●高等学校国語科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること。（●は必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
国 語 学	国 語 学 （音声言語および文章表現に関するものを含む。）	日本語基礎論	2		必修 必修
		基礎日本語Ⅰ	2	●	
		基礎日本語Ⅱ	2	●	
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		必修
		日本語学研究Ⅰ	2	●	
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		必修 必修 必修 必修
		音声学研究Ⅰ	2	●	
		音声学研究Ⅱ	2	●	
		言語学研究Ⅰ	2	●	
		言語学研究Ⅱ	2	●	※ 他学科聴講生 履修不可
		日本語学課題研究Ⅰ	2		
		日本語学課題研究Ⅱ	2		
		日本語学課題研究Ⅲ	2		
		日本語学課題研究Ⅳ	2		
	国 文 学 （国文学史を含む。）	日本文学基礎論	2		必修 必修
		基礎日本文学Ⅰ	2	●	
		基礎日本文学Ⅱ	2	●	
		基礎日本文学Ⅲ	2		※ 他学科聴講生 履修不可
		基礎日本文学Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		
		仏教文学Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅰ	2		
		日本文学課題研究Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅲ	2		
		日本文学課題研究Ⅳ	2		
	漢 文 学	日本漢文学	2	●	必修

2015年度未開講

# ■人文学科〈哲学・宗教文化コース〉

## ●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること。(○は選択必修)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
公 民	「法律学（国際法を含む。） 政治学（国際政治を含む。）」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1 科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
	「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」	社会学入門	4	○	1 科目選択必修
		経済学概論（国際経済を含む。）	2	○	
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	哲学入門	2	○	1 科目選択必修
		現代倫理学Ⅰ	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学の基礎 A	2	○	
		哲学・思想基礎論	2		※ 他学科聴講生 履修不可
		宗教文化論	2		
		文化人類学	2		
		哲学の歴史Ⅰ	2		
		哲学の歴史Ⅱ	2		
		現代哲学Ⅰ	2		
		現代哲学Ⅱ	2		
		現代倫理学Ⅱ	2		
		宗教史Ⅰ	2		
		宗教史Ⅱ	2		
		宗教文化研究A	2		
		宗教文化研究B	2		
		宗教文化研究C	2		
		宗教文化研究D	2		
		現代宗教論	2		
		比較宗教論	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅰ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅱ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅲ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅳ	2		

2015年度未開講

# ■人文学科〈哲学・宗教文化コース〉

## ●中学校・高等学校宗教科

◎修得単位数の合計が中学校は28単位以上、高校は30単位以上になるように以下の科目を履修すること。

(●は必修、○は選択必修)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
宗 教	宗 教 学	宗教学入門	2	●	必修
		宗教文化論	2		
		宗教文化研究A	2		
		宗教文化研究B	2		
		宗教文化研究C	2		
		宗教文化研究D	2		
		現代宗教論	2		
		比較宗教論	2		
	宗 教 史	宗教史Ⅰ	2	●	必修
		宗教史Ⅱ	2	●	必修
	「教 理 学、哲 学」	哲学入門	2	●	必修
		哲学・思想基礎論	2		
		哲学の歴史Ⅰ	2		
		哲学の歴史Ⅱ	2		
		現代哲学Ⅰ	2		
		現代哲学Ⅱ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅰ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅱ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅲ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅳ	2		

2015年度未開講

## ■日本文学科〈日本文学コース〉(2015年度以降入学生)

## ●中学校国語科

◎修得単位数の合計が28単位以上になるように以下の科目を履修すること。(●は必修)

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
国 語	国 語 学 (音声言語および文章表現に 関するものを含む。)	日本語基礎論	2		必修 必修
		基礎日本語Ⅰ	2	●	
		基礎日本語Ⅱ	2	●	
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		必修
		日本語学研究Ⅰ	2	●	
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		必修 必修 必修 必修
		音声学研究Ⅰ	2	●	
		音声学研究Ⅱ	2	●	
		言語学研究Ⅰ	2	●	
		言語学研究Ⅱ	2	●	
	国 文 学 (国文学史を含む。)	日本文学基礎論	2		必修 必修
		基礎日本文学Ⅰ	2	●	
		基礎日本文学Ⅱ	2	●	
		基礎日本文学Ⅲ	2		
		基礎日本文学Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		必修 必修 必修 必修
	漢 文 学	古典文学研究Ⅳ	2		
		仏教文学Ⅱ	2		
		日本漢文学	2	●	
	書 道 (書写を中心とする。)	書写技術研究 A	2	●	必修
		書写技術研究 B	2	●	必修

2015年度未開講

# ■日本文学科〈日本文学コース〉（2015年度以降入学生）

## ●高等学校国語科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること。（●は必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
国語	国語学 （音声言語および文章表現に関するものを含む。）	日本語基礎論	2		必修 必修
		基礎日本語Ⅰ	2	●	
		基礎日本語Ⅱ	2	●	
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		
		日本語学研究Ⅰ	2	●	必修
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		
		音声学研究Ⅰ	2	●	必修
		音声学研究Ⅱ	2	●	必修
		言語学研究Ⅰ	2	●	必修
		言語学研究Ⅱ	2	●	必修
	国文学 （国文学史を含む。）	日本文学基礎論	2		必修 必修
		基礎日本文学Ⅰ	2	●	
		基礎日本文学Ⅱ	2	●	
		基礎日本文学Ⅲ	2		
		基礎日本文学Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		
		漢文学	古典文学研究Ⅳ	2	
仏教文学Ⅱ			2		
日本漢文学			2	●	

2015年度未開講

# ■歴史学科

## ●中学校社会科

◎修得単位数の合計が26単位以上になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
社会	日本史及び外国史	日本史概説	4	●	必修 必修
		西洋史概説	4	●	
		歴史学入門	2		必修
		日本の歴史と仏教	2		
		仏教と歴史	2		
		日本の歴史書	2		
		東洋史概説	4	●	
		考古学概説	4		
		考古学特講	2		
		考古学基礎研究	2		
		東洋文化史	2		
		歴史文化概論	2		
		民族と歴史	2		
		日本史特殊研究A	4		
		日本史特殊研究B	4		
		古記録講読A	2		
		古記録講読B	2		
		古文書講読A	2		
		古文書講読B	2		
		日本古代史基礎研究	2		
		日本古代史基礎研究A	2		
		日本古代史基礎研究B	2		
		日本中世史基礎研究	4		
		日本中世史基礎研究A	2		
		日本中世史基礎研究B	2		
		日本近世史基礎研究	4		
		日本近世史基礎研究A	2		
		日本近世史基礎研究B	2		
		日本近代史基礎研究	4		
		日本近代史基礎研究A	2		
		日本近代史基礎研究B	2		
		日本古代史特講	2		
		日本中世史特講	2		
		日本近世史特講	2		
		日本近代史特講	2		
		東洋史特殊研究	4		
		中国の歴史書	2		
		東洋史基礎研究A	2		
		東洋史基礎研究B	2		
		東洋史特講A	2		
		東洋史特講B	2		
		東洋文献講読A	2		
		東洋文献講読B	2		
		東洋史基礎研究C	2		
社会	地理学 (地誌を含む。)	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	

2015年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
社会	地理学 (地誌を含む。)	自然地理学 A	2	○	1 科目選択必修 必修
		自然地理学 B	2	○	
		地誌学	2	●	
	「法学、政治学」	法律学概論(国際法を含む。)	2	○	1 科目選択必修
		政治学概論(国際政治を含む。)	2	○	
	「社会学、経済学」	社会学入門	4	○	1 科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学入門	2	○	1 科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		教育者のための哲学	2		
		こころの哲学	2		

2015年度未開講

## ■歴史学科

### ●高等学校地理歴史科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
地 理 歴 史	日 本 史	歴史学入門	2		必修
		日本の歴史と仏教	2		
		仏教と歴史	2		
		日本の歴史書	2		
		日本史概説	4	●	
		日本史特殊研究A	4		
		日本史特殊研究B	4		
		古記録講読A	2		
		古記録講読B	2		
		古文書講読A	2		
		古文書講読B	2		
		考古学基礎研究	2		
		日本古代史基礎研究	2		
		日本古代史基礎研究A	2		
		日本古代史基礎研究B	2		
		日本中世史基礎研究	4		
		日本中世史基礎研究A	2		
		日本中世史基礎研究B	2		
		日本近世史基礎研究	4		
		日本近世史基礎研究A	2		
		日本近世史基礎研究B	2		
		日本近代史基礎研究	4		
		日本近代史基礎研究A	2		
		日本近代史基礎研究B	2		
		日本古代史特講	2		
		日本中世史特講	2		
		日本近世史特講	2		
		日本近代史特講	2		
		考古学概説	4		
		考古学特講	2		
	外 国 史	中国の歴史書	2		必修
		東洋文化史	2		
		西洋史概説	4	●	
		東洋文献講読A	2		
		東洋文献講読B	2		
		東洋史基礎研究A	2		
		東洋史基礎研究B	2		
		東洋史特講A	2		
		東洋史特講B	2		
		東洋史基礎研究C	2		
		東洋史概説	4	●	
		東洋史特殊研究	4		
	人文地理学及び自然地理学	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
	地 誌	地誌学	2	●	必修

2015年度未開講

# ■表現文化学科〈英語表現・コミュニケーションコース〉

## ●中学校・高等学校英語科

◎修得単位数の合計が中学校は28単位以上、高校は30単位以上になるように以下の科目を履修すること  
(●は必修、○は選択必修)。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
英 語	英 語 学	英語学概論A	2	●	必修
		英語学概論B	2	●	必修
	英 米 文 学	英米文学概論A	2	●	必修
		英米文学概論B	2	●	必修
		アメリカ文学史	2	○	1 科目選択必修
		イギリス文学史	2	○	
		英会話Ⅰ	2	○	1 科目選択必修
		英会話Ⅱ	2	○	
		英会話Ⅲ	2	○	
		英会話Ⅳ	2	○	
		英語表現論	2		
		英語コミュニケーション論Ⅰ	2		
		英語コミュニケーション論Ⅱ	2		
		英語コミュニケーション論Ⅲ	2		
		英語コミュニケーション論Ⅳ	2		
		英語表現研究A	2		
		英語表現研究B	2		
		キャリア英語表現A	2		
		キャリア英語表現Ⅰ	2		
		キャリア英語表現B	2		
		キャリア英語表現Ⅱ	2		
		キャリア英語表現C	2		
		キャリア英語表現Ⅲ	2		
		キャリア英語表現D	2		
		キャリア英語表現Ⅳ	2		
		ワークショップ(英語)Ⅰ	6		
		ワークショップ(英語)Ⅱ	6		
		ワークショップ(英語)Ⅲ	6		
		ワークショップ(英語)Ⅳ	6		
		ワークショップ(英語)Ⅴ	6		
		ワークショップ(英語)Ⅵ	6		
		ワークショップ(英語)Ⅶ	6		
	異 文 化 理 解	異文化の理解A	2	●	必修
		異文化の理解B	2	●	必修
		異文化の理解C	2		
		異文化の理解D	2		
		異文化研究の展開Ⅰ-A	2		
		異文化研究の展開Ⅰ-B	2		
		異文化研究の展開Ⅰ-C	2		
		異文化研究の展開Ⅰ-D	2		
		異文化研究の展開Ⅱ-A	2		
		異文化研究の展開Ⅱ-B	2		
		異文化研究の展開Ⅱ-C	2		
		異文化研究の展開Ⅱ-D	2		

2015年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
英語	異 文 化 理 解	異文化特別研究Ⅰ	2	●	必修
		異文化特別研究Ⅱ	2		
		異文化特別研究Ⅲ	2		※ 他学科聴講生 履修不可
		異文化特別研究Ⅳ	2		
		異文化課題研究Ⅰ	2		
		異文化課題研究Ⅱ	2		
		異文化課題研究Ⅲ	2		
		異文化課題研究Ⅳ	2		

2015年度未開講

## ■表現文化学科〈クリエイティブライティングコース〉

### ●高等学校書道科

◎修得単位数の合計が30単位以上になるように以下の科目を履修すること（●は必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備 考
書  道	書 道（書 写 を 含 む。）	書写技術研究A	2		必修 必修 必修 必修 必修
		書写技術研究B	2		
		書道Ⅰ	2	●	
		書道Ⅱ	2	●	
		書道Ⅲ	2	●	
		書道文化研究A	2	●	
		書道文化研究B	2	●	
		書道文化研究	4		
		書道文化研究E	2		
	書 道 史	書道史Ⅰ	2	●	必修
		書道史Ⅱ	2	●	必修
	「 書 論、 鑑 賞 」	書道表現研究A	2		必修 必修
		書道表現研究B	2		
		書道文化研究C	2	●	
		書道文化研究D	2	●	
	「 国 文 学、 漢 文 学 」	文芸表現論	2		必修
		日本文学基礎論	2		
		日本漢文学	2	●	

2015年度未開講

## \* 介護等体験 \*

教育職員免許法の特例により、小学校および中学校の教諭の普通免許状を取得するにあたって「障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等体験）」が義務づけられています。

小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律  
(平成9.6.18法律90号)  
(趣旨)

第1条 この法律は、義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる措置を講ずるため、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与について教育職員免許法（昭和24年法律第147号）の特例等を定めるものとする。

### ■ 対象者

中学校教諭一種免許状取得を希望する学生

### ■ 参加条件

前年度の介護等体験スタートガイダンスに参加し、申込書を提出、課題に合格した学生  
かつ、その後のガイダンスに全て出席し、課題等に全て合格した学生

### ■ 体験実施年次

3年次が望ましいですが、履修計画等により3年次に行うことが困難な場合は4年次に実施してください。

### ■ 体験先・体験日数

特別支援学校2日間＋社会福祉施設5日間＝計7日間

### ■ 体験時期（5月～翌年3月）

日程指定はできません。

体験先・体験日は、決定次第発表します（5～6月頃）。

### 介護等体験の辞退、日程の変更

私的な都合（留学、サークル活動、アルバイト、帰省、就職活動など）による体験日程の変更は一切認めません。また進路変更等、自己都合による辞退も認めません。

## ■ 介護等体験日程

3 年次 (平成 27 年度 体験者)	3月26日(木)	介護等体験 ガイダンス	ガイダンス、事前授業には、全て出席してください。また、やむを得ない事由により欠席する場合は、事前に教務課へ申し出てください。
	5月16日(土)4限	介護等体験事前講義	〈健康診断証明書〉を提出してください。
	6月3日(水)5限	介護等体験事前講義	
	6月13日(土)4限	介護等体験 直前ガイダンス	介護等体験希望学生個人票を提出してください。必要書類を配布します。
	5月～3月	介護等体験	体験先・体験日程の指定はできません。
	2015年 12月12日(土)3限	介護等体験報告会	報告会の際に課題、証明書（コピー）提出
2 年次 (平成 28 年度 体験予定者)	2015年 10月24日(土)3限	介護等体験 スタートガイダンス	中学校教諭を取得希望の学生は必ず出席をしてください。（原則 2 年次参加）
	2015年 12月12日(土)3限	介護等体験報告会	

※全てのガイダンスは時間厳守で参加してください。

※ガイダンス日程については予定です。変更する可能性もありますので、T-Poで必ず確認をしてください。

※平成28年度に介護等体験を希望する学生は、「介護等体験スタートガイダンス」に必ず参加をしてください。

### ● 健康診断・細菌検査

介護等体験先より健康診断証明書の提出を求められるので、全員 4 月に実施される本学の健康診断を必ず受診してください。

体験先によっては、細菌検査結果等の提出を求められます。その際は、各自保健所等で検査を受けてください。検査結果の発行までに 2 週間以上かかる場合がありますので、日にちに余裕をもって検査を受けてください。

### ● 介護等体験実施

各自、指定された日程に特別支援学校または社会福祉施設にて介護等体験を行います。

### ● 介護等体験終了証明書

ガイダンス内で配布する「証明書」用紙に、体験先（特別支援学校、社会福祉施設）で終了を証明する押印を受けます。これが、体験終了を証明する「証明書」になります。これは、中学校の教員免許状を申請する際に必要な重要な書類です。大学にはコピーを体験報告会の時に提出してください。なお、「証明書」の再発行はできません。紛失した場合は再度体験をしなければなりませんので、「体験終了証明書」の原本は、各自で大切に保管してください。

### ● 介護等体験期間中の授業の欠席について

※介護等体験中の授業の欠席については、「欠席事由証明書」を発行します。欠席する科目担当教員へ事前に提出してください。但し、出欠の判断は担当教員の判断によります。発行については、直前ガイダンスで説明します。

## \* 教育職員免許状申請について \*

教育職員免許状の取得に必要な所定の科目の単位修得をした学生は、都道府県教育委員会に申請をすることで、教育職員免許状が授与されます。

この申請の方法には、「一括申請」と「個人申請」とがあり、学位授与式当日に免許状授与を希望する場合は、大学が東京都教育委員会に一括して授与申請（一括申請）を行います。それに際しては、下表の学内手続きが必要です。学内手続きを経ない（必要書類未提出、ガイダンス無断欠席）場合は、一括申請はせず、個人での授与申請（個人申請）となります。

### 【一括申請の手続き】

対象者：本年度3月に卒業（修了）見込みで、授与を希望する免許状に必要な所定の単位を修得していること（中学校一種の各教科の授与申請には、介護等体験を済ませていることも条件です）。加えて、以下の学内手続き（ガイダンス、書類提出等）を滞りなく済ませること。

	時期	内容	備考
一括申請ガイダンスⅠ	7月18日(土)4限	手続きの説明、申請書作成、戸籍抄本提出	
一括申請ガイダンスⅡ	12月19日(土)3限	申請内容の確認、書類作成	
手数料の納金	1月	1教科3,300円×申請教科分	
申請免許状の交付	3月	学位授与式当日、要印鑑(簡易印不可)	

### 【個人申請について】

申請および授与は、卒業後（卒業年4月中旬以降）に居住する都道府県教育委員会へ各自申請してください。申請する際には、必ず各教育委員会に問い合わせ、提出書類等の確認をしてください。

### 教員採用試験

教育職員として就職を希望する場合は、教育職員採用試験に合格する必要があります。

#### ① 公立学校の教員になるには

都道府県教育委員会が実施する教育職員採用試験に合格しなくてはなりません。

試験は毎年7月頃から実施されます。

この試験に合格すると教育職員採用候補者名簿に登録され、欠員を補充する形で採用されることになります。

#### ② 私立学校教員になるには

- ・私学協会が主催する「私立学校教員適性検査」を受験します。

- ・適性検査が実施される都道府県を確認してください。

- ・各私立学校独自の求人にも直接応募する場合があります。

※採用試験に関することはCEC（キャリアエデュケーションセンター）、教育人間学科閲覧室で取り扱っています。

※免許状を取得した後、免許状の授与証明書を必要とする場合は、各自で東京都教育委員会に問い合わせ、「教育職員免許状授与証明書」の交付を申請してください。（個人申請者は、申請先の教育委員会へ問い合わせてください。）

**【教員免許更新制】****教員免許更新制とは……**

- ①最新の知識技能を身に付けることが目的です。
- ②教員免許状に10年間の有効期限が付きます。
- ③更新の際には30時間の更新講習の受講が必要です。
- ④こちらの制度は平成21年4月1日より施行されました。同年3月31日以前の免許状取得者にも更新制の基本的な枠組みが適用されます。

**■教員免許状の有効期間について**

施行後（平成21年4月1日以降）に授与された免許状（新免許状）の場合

更新制を導入するため、普通免許状及び特別免許状の有効期間を、所要の資格を得て※から10年後の年度末までとします。

例えば、平成23年3月25日に所要資格を得た免許状は平成33年3月31日まで有効となります。

※「所要の資格を得て」…免許状の授与に必要な学位と単位を満たした状態のこと。

## \* 教育提携プログラム（小学校教諭二種免許状） \*

本学では、明星大学通信教育部の科目等履修制度を利用し、小学校教諭二種免許状を取得することができます。ただし、卒業までに『小学校教諭二種免許状』を取得できなかった場合、本学でのプログラムは終了しますが、卒業後、個人で明星大学通信教育部に再入学し、履修を継続することができます。

### 【履修対象者】

- ・全学部全学科の2年生～4年生
- ・平成28年2月に実施する学内選考に合格した1年生（2年生）  
※平成28年1月に『小学校教諭二種免許状取得希望者ガイダンス』を実施
- ・教職課程の資格登録者
- ・中学校教諭一種免許状取得見込者  
（既に他大学で中学校教諭一種免許状の交付を受けている学生を含む）

### 【履修期間】

履修期間は原則、2年次～4年次の3年間としています。  
2年次に申込をすると、3年次から履修開始となるため、履修期間は2年間となります。  
履修期間が短くなる分、履修しなければならない科目が多くなります。  
2年次に申込を考えている場合は、教職課程担当教員、または教務部窓口へ相談してください。

### 【学習方法】

- R：レポート 教科書を基に学習し、指定されたレポート課題を作成・提出する。  
T：科目終了試験 定められた日時において、学習した科目の試験を受験する。  
S：スクーリング 明星大学の講義に出席し、最終日に授業内試験を受ける（別途受講料が必要）

### ■小学校教諭二種免許状取得に必要な科目

科目名	単位	履修年次	受講方法	備考
音楽	2	2・3・4	RT or SR	
図画工作	2	2・3・4	RT or SR	
初等教育課程論	2	2・3・4	RT	
初等教育方法学	2	2・3・4	RT or SR	
初等国語科教育法（書写を含む）	2	2・3・4	RT or SR	
道德教育の指導法（小学校）	2	3・4	RT or SR	
初等音楽科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等図画工作科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等算数科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等社会科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等生活科教育法	2	3・4	RT	
初等教育実習指導	1	3・4	SR	
初等教育相談の基礎と方法	2	4	RT	
特別活動の指導法（小学校）	2	4	RT	
初等教育実習	2	4	—	
合計（15科目）	29			

※RT：レポートと科目終了試験 SR：スクーリングとレポート

### \* 教育実習について \*

本学で中学校または高校で教育実習を3週間行った場合、小学校での実習期間は2週間となります。  
なお、都立の小学校での実習は認められていません。

### 【小学校教諭二種免許状の交付申請方法】

本学で学位授与式当日に、中学校教諭一種免許状を交付された後、各自、交付を受ける教育委員会に個人申請をしていただくこととなります。

### 【教育提携プログラムに関するお知らせについて】

教育提携プログラムに関するお知らせは、すべてT-Poで配信します。

